

製品名: RASSF2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16922**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	RASSF2
別名	RASSF2; KIAA0168; Ras association domain-containing protein 2
遺伝子 ID	9770.0
SwissProt ID	P50749
免疫原	抗血清はヒト RASSF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 109-158

背景

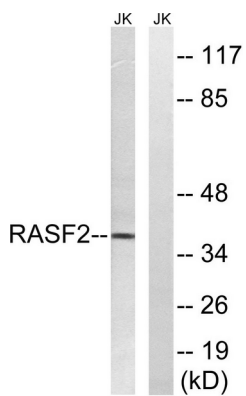
この遺伝子は、Ras 関連ドメインを含むタンパク質をコードします。ウシおよびヒツジの Ras 関連ドメインと同様に、この遺伝子はプリオン遺伝子の近くに位置しています。同じアイソフォームをコードする 2つの選択的スプライシング転写産物が報告されていま

す。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 潜在的な腫瘍抑制因子。KRAS 特異的エフェクタータンパク質として作用します。アポトーシスおよび細胞周期停止を促進する可能性があります。類似性: 1 つの Ras 関連ドメインを含みます。類似性: 1 つの SARAH ドメインを含みます。サブユニット: GTP 依存的に活性化 KRAS と直接相互作用します。組織特異性: 広く発現しており、脳、胎盤、末梢血、肺で最も高いレベルで発現します。肺腫瘍細胞株では頻繁にダウンレギュレーションが見られます。、

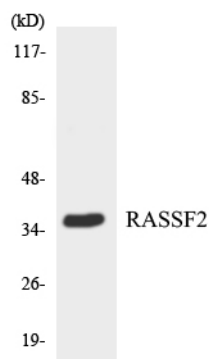
研究分野

シグナル伝達

画像データ



RASSF2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RASSF2 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。